

2 学校体育の充実

- (1) 教員の資質能力の向上と授業改善に向けた研修の充実
 - ア 悉皆研修や短期研修講座等（体育・保健体育）の充実
 - (ア) 短期研修講座
 - a 水泳指導法講座

目 的	学習指導要領の趣旨に基づいた水泳授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深めるとともに、段階的に泳法指導を学んだり各自が抱えている水泳指導上の課題やその解決策について実技を通して意見交換を行ったりすることで、実践的な指導力を高める。		
期日・会場	令和3年6月9日（水） 鴨池公園水泳プール	参加者数	20人
成果・課題	水遊びから泳法指導まで幅広く授業づくりの提供ができた。講座前に、課題等を記入して、講義や実技のなかで対応することで、受講生に還元できるようにする。		
令和4年度 の 予 定	令和4年6月8日（水） 鴨池公園水泳プール		

《 内 容 》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりと学習評価」

※ 《内容》の吹き出しは、受講者の感想

学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、学習指導要領を詳しく読み解きながら理解を深めました。また、授業における評価の在り方についても評価規準の設定から指導と評価の一体化について学びました。

具体的にどのような授業をつかっていき、評価につなげればいいのか分かりました。体育の評価規準の作成については、どの先生も迷われているとのことでしたので、講義内容が生かせると思いました。



【講 義】

2 実技「水遊び、水泳運動」、「水泳」

水遊び→浮いて進む運動、もぐる・浮く運動→クロール、平泳ぎ、安全確保につながる運動→泳法（クロール、平泳ぎ、ターン）への段階的指導法について学びました。



【浮いて進む運動】

低学年の水泳学習に取り入れられるものが多く実践したいと思いました。実技を通して、どうしたら浮くのか、沈むのかのコツがよく分かりました。

クロール・平泳ぎの指導のポイントがよく分かる内容でした。特に「あおり足」にならないための指導は、すぐ実践したいと思いました。



【平泳ぎの指導】

3 実技「課題別学習・情報交換」について

水泳指導について疑問に思ったことを課題別に話し合ったり、各学校の実践について情報交換を行ったりして日頃の課題の解決策を考えました。中学校とは異なる視点が、小学校の先生方から出るため、多様な考え方に触れることができ大変参考になりました。

b 小学校体育実技基礎講座①

目 的	学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深め、効果的な指導法を身に付けたり、各自が抱えている体育指導上の課題やその解決策について、実技を通して意見交換等を行ったりすることで、実践的な指導力を高める。		
期日・会場	令和3年6月23日（水） 県総合体育センター体育館	参加者数	25人
対 象	小学校及び特別支援学校の教員		
成果・課題	学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりや苦手な子供にも取り組みやすい器械運動の指導の在り方を伝達することができた。 道具を借用する場合は、できるだけ数量を限定して借用するようにする。		
令和3年度の予定	令和4年6月22日（水）：県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」と学習評価

※ 《内容》の吹き出しは、受講者の感想



学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、学習指導要領改訂のポイントや「指導と評価の一体化」を学びました。

「単元の評価規準」作成のための参考資料について、教えていただいたので早速活用していきたいと思いました。

2 実技「器械運動」

実技「器械運動」では、授業ですぐに使える運動をたくさん体験しました。



【動物歩き】

実際に自分が体験することで、この動きは何のためなのか、何の運動につながるのかよく理解することができました。

器械運動での段階的な指導の重要性に気付くことができました。



【開脚前転】



【側方倒立回転】

児童のつまずきやすい点について、考えながら実技を行うことで児童の目線にたつことができ、つまずきやすいポイントについても理解できました。



【開脚跳び】

3 実技「課題別学習・情報交換」

各自が抱えている体育指導上の課題について協議し、解決策等を共有しました。



情報交換をする中で、自分もっている困り感を、他の先生方も同じように思っていることで安心しました。

b 小学校体育実技基礎講座②

目 的	学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深め、効果的な指導法を身に付けたり、各自が抱えている体育指導上の課題やその解決策について、実技を通して意見交換等を行ったりすることで、実践的な指導力を高める。		
期日・会場	令和3年10月22日（金） 県総合体育センター体育館	参加者数	21人
対 象	小学校及び特別支援学校の教員		
成果・課題	学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりや苦手な子供にも取り組みやすい「ボール運動系・ネット型」の指導の在り方を伝達することができた。情報交換の時間をもっと確保してほしいとの意見があった。		
令和4年度の予定	令和4年10月19日（水）：県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」と学習評価

※ 《内容》の吹き出しは、受講者の感想



学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、学習指導要領改訂のポイントや「指導と評価の一体化」を学びました。

教科の存在価値として、見方・考え方をしっかり把握する必要性を強く感じ、学習指導要領に示されたことを十分に理解することが大切だと思いました。

2 実技「ボール運動系・ネット型」

実技「ボール運動系・ネット型」では、授業ですぐに使える運動をたくさん体験しました。



【ボールを投げ入れるゲーム】

子供たちが楽しいと思うことができるネット型を実践するには、どのような工夫をすればいいのかわかり、考えることができました。

どの子供も夢中になれるネット型のボールゲームは、とても参考になりました。



【テニスを易しくしたゲーム】



【プレルボール】

今まで簡易化した活動になるように意識して授業を設計してきたがどの部分を簡易化して、どの部分をそのままの要素として残すか悩んでいたが、自分が実際に活動する中で、技能面を補うという視点をもとに計画すればいいと分かりました。



【ソフトバレーボール】

3 実技「課題別学習」・情報交換

各自が抱えている体育指導上の課題について協議し、解決策等を共有しました。



情報共有ができ、アイデアや具体的な授業のイメージが膨らみました。

他校の取り組みや悩みを共有することができ良かったです。

c 小学校体育授業づくり講座

目 的	学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業づくり及び保健授業の進め方について講義や実技等を通して理解を深めたり，体育指導上の課題やその解決策について意見交換等を行ったりすることで，実践的な指導力を高める。		
期日・会場	令和3年7月29日（木）・30日（金） 県立青少年研修センター	参加者数	30人
対 象	小学校及び特別支援学校の教員		
成果・課題	受講者それぞれがもつ課題を明確にしてから実技，授業体験，模擬授業づくりへ取り組むことで，課題解決を図ることができた。 模擬授業づくりや研究協議等，担当する班を決めておいて，指導・助言をきめ細かにできるようにする。		
令和4年度の予定	令和4年7月28日（木）・29日（金）：県立青少年研修センター		

《内 容》

1 講義「保健授業の進め方」「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりと学習評価」

※ 《内容》の吹き出しは，受講者の感想

保健授業の進め方や学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりのポイントを学びました。

保健の授業について，どう進めていけばよいか悩んでいたが，日常生活の中の課題にふれながら，言語活動を取り入れた実践を見せていただき大変参考になりました。



2 実技「体づくり運動」「模擬授業の考案・発表」

【保健授業の進め方】

実技「体づくり運動」では，授業ですぐに使える運動をたくさん体験しました。



【巧みな動きを高めるための運動】

実技は，自分自身がとても楽しめるもので，工夫次第で子供たちが「楽しい」という授業がつくれると思いました。

実技がとても楽しかったです。学校でも子供たちや職員にしっかり伝えたいです。指導と評価を考えながら，楽しむ体育ができそうです。



【体のバランスをとる運動】

運動が苦手な児童や意欲的でない児童，見学者に対して「どのような指導をしていくのか」という視点でグループに分かれて模擬授業を考案し，発表しました。



【体づくり運動の授業体験】

模擬授業で実際授業をつくることで，何を目標とするのか，どんな手立てが必要なのかを考えることができました。

授業体験は，自分自身がとても楽しめるもので，工夫次第で子供たちが「楽しい」という授業が作れるなと思いました。



【模擬授業の考案・発表】

3 研究協議「体育指導上の課題解決」

同じ学校規模のグループで，体育指導上の課題を協議し，解決策等を共有しました。



他の学校の先生方と一緒に語りながら「体育指導上の課題」について考えることができました。久しぶりに有意義な時間を過ごすことができました。

d 中高保健体育授業づくり講座

目 的	学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業づくり及び保健授業の進め方について、講義や実技等を通して理解を深めるとともに、体育指導上の課題やその解決策について意見交換等を行うことで、実践的な指導力を高める。		
期 日・会 場	令和3年8月5日（木）・6日（金） 県総合体育センター体育館	参加者数	19人
対 象	中学校、高等学校及び特別支援学校の教員		
成 果・課 題	鹿屋体育大学から講師を招聘し、単元構造図について理解を深めることができた。 体育と保健のより一層の関連を図った指導の充実を目指した講座内容を工夫する。		
令 和 4 年 度 予 定	令和4年8月4日（木）・5日（金） 県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「保健授業の進め方」 ※ 《内容》の吹き出しは、受講者の感想

学習指導要領の趣旨に基づいた保健授業の進め方について講義を受けました。

生徒が自主的に取り組む仕掛けや表現ができる場の設定など、アクティブラーニングやICTの活用ができるように、まずは自分が学ばなければと思いました。



【講 義】

2 実技「体づくり運動の実技及び模擬授業の考案・発表」

体づくり運動の実技では、日常的に継続してできる運動を学びました。模擬授業では、実生活に生かす運動計画の行い方をグループで考え、発表しました。

グループの先生方と考えることで、いろいろな発想が出てきて今後の参考になるところが多くありました。



【体ほぐしの運動】

3 研究協議「学校体育経営上の課題解決」

体育経営上の課題について小グループに分かれて協議し、出された意見等を全体で共有し、解決策を考えました。

どの先生方も、どの学校も課題解決に前向きに取り組まれていることが分かり、生徒のためにしっかり学び続けたいと思いました。



【グループ協議】

4 講演「学習指導要領の趣旨に基づいた単元計画の考え方」

単元構造図作成のねらいや内容等について講義を受けた後、グループごとに「指導と評価の計画」を作成しました。

評価の在り方について、曖昧であったところが解決でき、単元計画も中学校からの系統性を踏まえて作成する必要があると思いました。

e 中高保健体育実技講座①

目 的	学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深めるとともに、学校体育経営上の課題やその解決策について実技を通して意見交換を行うことで、実践的な指導力を高める。		
期 日・会 場	令和3年7月2日（金） 県総合体育センター体育館	参加者数	7人
対 象	中学校、高等学校及び特別支援学校の教員		
成 果・課 題	実技指導を通じて、学習指導要領の趣旨に基づく指導の工夫や授業改善を図ることができた。 学習指導要領を踏まえた講座内容を工夫する。		
令 和 4 年 度 予 定	令和4年7月1日（金）：県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた体育の授業づくりと学習評価」

※ 《内容》の吹き出しは、受講者の感想

「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりと学習評価について学びました。」

学習指導要領の内容について分かりやすく理解することができ、学習計画の立て方も体育センターの様式を活用してみようと思いました。



【講 義】

2 実技「陸上競技」

実技「陸上競技」では、各種目の段階的な指導法やICTの活用法について学びました。



【短距離走】

新聞紙を使ったり、テープを使ったりする運動は、アイスブレイクなどでも楽しくでき、短距離走・リレーにも生かせると思いました。

それぞれの種目のキーポイントとなる技能を中心に講義、実技指導があり、今後に活用していきたいです。



【ハードル走】



【リレー】

テイクオーバーゾーンの使い方やバトンの受け渡し方等は、タブレットで動画を見直すことが効果的だと思いました。

ペース走など工夫していけそうな内容だったので、生徒の実態に応じて活用してみたいと思いました。



【長距離走】

3 実技「課題別学習・情報交換」

各自が抱えている体育指導上の課題について協議し、解決策等を共有しました。



【課題別学習・情報交換】

全体を通して初めて学ぶことも多く、情報交換もでき、大変有意義な研修でした。

e 中高保健体育実技講座②

目 的	学習指導要領の趣旨に基づいた体育授業の在り方について、講義や実技を通して理解を深めるとともに、学校体育経営上の課題やその解決策について実技を通して意見交換を行うことで、実践的な指導力を高める。		
期 日・会 場	令和3年11月25日（木） 県総合体育センター体育館	参加者数	13人
対 象	中学校、高等学校及び特別支援学校の教員		
成 果・課 題	実技指導を通じて、学習指導要領の趣旨に基づく指導の工夫や授業改善を図ることができた。 学習指導要領を踏まえた講座内容を工夫する。		
令 和 4 年 度 予 定	令和4年11月25日（金）：県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた体育の授業づくりと学習評価」

※ 《内容》の吹き出しは、受講者の感想

「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりと学習評価について学びました。」

新学習指導要領になり、評価の部分で悩むことが多かったが、具体的に内容が示されていたので分かりやすかったです。



【講 義】

2 実技「球技（ネット型）」

実技「球技（ネット型）」では、バドミントンの段階的な指導法について学びました。



【風船打ち】

スモールステップの指導と風船を使った練習は新鮮でした。指導のポイントも分かりやすくすぐに授業で活用したいと思いました。

打ち方のポイントを詳しく説明して下さったので、こつを掴むことができました。



【クリアー】



【ドライブ】

ネット型の特性であるラリーを楽しむことを味わうことができたので、生徒達にも同じように楽しさを味わってもらえるように、今回学んだことを生かしたいと思いました。

基本的な動きから、ゲームに関する内容など実践的な内容で、授業に取り入れられる要素がたくさんありました。



【2点ゲーム】

3 実技「課題別学習・情報交換」

各自が抱えている体育指導上の課題について協議し、解決策等を共有しました。



【課題別学習・情報交換】

ICTの活用など他校の取り組みや、情報を交換することができてよかったです。

イ 自主研修講座の充実

(7) 体育・保健体育指導法講座

目 的	講義や実技研修を行うことによって、受講者一人一人が抱えている体育指導上の課題解決を図り、指導力の更なる向上を目指す。	
期 日・会 場	令和3年8月24日（火） 西之表市立榕城小学校	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止
対 象	熊毛地区の全校種の教員	
令和4年度 の 予 定	令和4年8月23日（火） 徳之島町立亀津小学校	

(1) 体育センター来所研修

目 的	生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現することができる児童生徒を育成するために、体育授業の充実と教員の資質向上を図る。	
期日・会場	令和3年8月18日（水）・19日（木） 県総合体育センター体育館	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止
対 象	全校種の教員	
令和4年度 の 予 定	令和4年8月10日（水）・18日（木） 県総合体育センター体育館	

ウ 各種研修会や校内研修会等への職員派遣

目的	県立学校，市町村立学校，市町村教育委員会及び教育事務所が行う学校体育や社会体育の研修会等に，要請に応じて職員を派遣することにより，学校体育の授業改善や教員の資質能力の向上を図るとともに，スポーツ・レクリエーション活動等の振興を図る。
期日・会場	○ 年間を通して（※講座等の開催時期により実施できないことがある。） ○ 申請者が指定する場所
対象	教員等
成果・課題	学校体育の授業改善や教員の資質能力の向上を図るとともに，スポーツ・レクリエーション活動等の振興を図ることができた。 講師派遣回数が増加傾向にある。総合体育センターだよりなどでの広報活動を積極的に行う。
令和4年度の予定	県立学校，市町村立学校，市町村教育委員会及び教育事務所が行う学校体育や社会体育の研修会等への講師派遣となる。 ※ 県総合体育センターのホームページにより広報する。

《内 容》

1 派遣実績

研修会名	期日	会場	人数	内容
共通講義「体育」	4月12日(月)	鹿児島県立農業高等学校	92	仲間づくりを中心とした体づくり運動の指導
第84期県消防学校初任教育生「体育理論」	4月15日(木)	鹿児島県消防学校	71	体育理論（講義）及び体力向上（実技）の指導
令和3年度体育・保健体育主任等研修会	5月14日(金)	出水市役所1階多目的ホール	19	学習指導要領の改訂ポイント及び評価について
始良市体力・気力アップ始良っ子育成研修会	8月27日(土)	始良市役所加治木総合支所	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2 研修の様子



【第84期県消防学校初任教育生「体育理論」】



【共通講義「体育」：鹿児島県立農業高等学校】

(2) 学校体育に関する資料の提供（ホームページ・フェイスブック）

<p>内 容</p>	<p>1 お知らせ 「学校体育に関する研修の充実」に役立つ講座等の案内 ○ 夏季自主研修講座「体育センター来所研修」 ○ 職員派遣事業 ○ 年間事業計画</p> <p>2 事業紹介 講座や研修会の紹介等</p> <p>3 事業結果 「学校体育に関する研修の充実」に役立つ講座や研修会の結果紹介（活動の様子、参加者の感想など） ○ ホームページ掲載例（小学校体育実技基礎講座①から）</p>  <p>○ フェイスブック掲載例（動画紹介）</p>  <p>4 指導資料 体育・保健体育の授業づくりや集団の仲間づくりに活用してください。 ○ 学校体育実技指導資料 【小学校体育科・中高保健体育科】 系統性を踏まえた指導のための参考資料「知識及び技能（体づくり運動系の場合は知識及び運動）の例示」 ○ 「体づくり運動」実践指導資料</p>
<p>ホームページ アドレス</p>	<p>www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html</p>
<p>フェイスブック アドレス</p>	<p>https://www.facebook.com/sotaise.kagoshima</p>

3 生涯スポーツ振興のための調査

本調査は、県民のスポーツ活動等に関する実態や意識等の現状を把握するため、県下全43市町村の県民を対象に、年齢構成や男女比率が均衡するよう抽出して実施した。

(1) 調査の目的

- ア 県民のスポーツ活動等に関する実態調査を行い、今後の生涯スポーツの振興施策の基礎資料とする。
- イ 県民に調査結果を公表し、「スポーツを通して、支え合うことのできる活力ある社会づくり」の気運を高めるとともに、生涯スポーツ振興上の課題解決に生かす。

(2) 調査項目

- ア 運動・スポーツへの関心について
 - 「する」「みる」「ささえる」の三つの観点から
- イ 地域とのつながりについて
- ウ 総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）の認知度及び加入に対する意向について
- エ その他
 - ・ 国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」への関心
 - ・ 全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への関心

(3) 調査対象

- ア 平成30年度「市町村別、男女別人口及び世帯数、人口動態（県企画部統計課）」に基づき、各市町村のサンプル数を算出した上で、18歳以上の2,724人を対象に実施した。
- イ 調査対象の世代区分及び年齢区分については、「スポーツ振興かごしま基本方針」（平成23年7月策定）に準じて設定した。

（サンプル数内訳：人）

区 分		青年期	壮 年 期			高齢者
年 齢		18～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
人数	男	454	152	151	151	454
	女	454	152	151	151	454
	小計	908	304	302	302	908
	合計	2,724				

(4) 調査方法

- ア 回答方法
 - 選択式ただし一部自由記述式
- イ 依頼先
 - 各市町村教育委員会教育長及び関係市長（社会体育担当主管課扱い）

(5) 調査結果及び考察

鹿児島県総合体育センターホームページ＞資料等（発行物・調査結果）に掲載。



【HPQRコード】

4 写真資料（新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止になった事業）

1 スポーツ・レクリエーション活動の支援

(1) 普及・奨励

ア 普及・奨励事業の充実及びモデル事業の実施

(ア) スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」

b 秋「スポーツプラザ」

《令和元年度の様子》



【体力測定】



【3時間走】



【ニュースポーツ体験コーナー】



【スポーツウェルネス吹矢体験教室】



【ペタンク体験教室】



【鹿児島ユナイテッドFCサッカー教室】



【タグラグビー・ミニラグビーフェスタ】



【テニスコート一般開放】



【コミュニティスポーツクラブコーナー】

(イ) 暑中げいこ

《令和元年度の様子》



【柔道（抑え込み練習）】



【剣道（素振り）】



【弓道（一手行射）】

(2) 指導者の養成と資質向上
ウ 柔道指導者講習会

《令和元年度の様子》



【講義：世界の頂点を目指して】



【講義：国際柔道連盟試合審判規定】



【実技：安全指導】



【実技】

エ 地域社会武道指導者研修会

《令和元年度の様子》



【講義】



【講義】



【実技】



【模擬授業】

- (4) 情報提供, 相談体制及び調査研究の充実
 ア 県民のニーズに即応した情報の提供
 (7) スポーツ情報交換会

《令和元年度の様子》



【情報交換会全体の様子】



【情報交換会全体の様子】



【県中学校体育連盟からの情報提供】



【県小学校体育連盟からの情報提供】

2 学校体育の充実

- (1) 教員の資質能力の向上と授業改善に向けた研修の充実
 イ 自主研修講座の充実
 (7) 体育・保健体育指導法講座

《令和2年度の様子》



【講義「指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」】



【実技：体づくり運動】



【実技：体づくり運動】



【実技：体づくり運動】

(4) 体育授業づくり来所研修

《令和2年度の様子》



【パラリンピック競技体験】
(シッティングバレーボール)



【ボール運動系・球技】
(ゴール型)



【ボール運動系・球技】
(ネット型)



【陸上運動系・陸上競技】